

カブッキー×ポムポムプリン 小松市オリジナルグッズが増えました!



速いは近い
つながる小松

北陸新幹線
小松駅開業まで

あと **3** カ月



※画像はイメージです。

新幹線開業を目前に控え、
小松市を訪れる人へのPRのため、新たに小松市オリジナル
グッズを制作しました。

1.アクリルスタンド 全3種

サイズ：約7×7×3.5cm

価格：各770円(税込み)

2.アクリルキーホルダー 全3種

サイズ：約7×7cm

価格：各730円(税込み)

3.ステッカー 全3種

サイズ：約6×6cm

価格：各300円(税込み)

販売場所

●小松土産店(小松駅高架下)

●空の駅こまつ(小松空港1階)

●うみのえき安宅(「安宅の関」
こまつ勧進帳の里)

問い合わせ

広報秘書課 ☎24・8016



▲シンガポールを代表するわけではないが、実家の定番デザートの黒米ぜんざい。ココナツミルクがたっぷり。

なぜなら、出身のシンガポールには決まった習慣があまりないからです。私は口癖のように「みんなそれぞれ」としか答えられません。朝ごはんにはご飯やパンや、麺類を食べる人もいれば、私のようにケーキを食べる変な人もいる。お酒はとりあえずその場で安く提供されているお酒にする(シンガポールは酒税が割高)。年末年始はキリスト教の人はクリスマスを祝うし、

海外の人に会ったら、その国の伝統や習慣、独自の文化を知りたいのは当然です。「朝ごはんは何を食べる?」「お酒は何を飲む?」「年末年始はどう過ごす?」など。このように興味を持ってくれるのはうれしいけれど、私は申し訳ないくらい面白い答えを出せません。

国際交流員フイミンの“こまつ新発見”

「シンガポールの『独自の文化』は『みんなそれぞれ』」



問い合わせ 観光交流課 ☎24・8039

中華系の人は春節の方が大切だけど、私の実家は特に何もしない。旅行に行く人も多い、と私は答えています。

なんせシンガポールは1965年に独立した国で歴史が浅く、イギリス植民地時代でも、後の経済発展の中でも、絶えず移民を多く受け入れてきました。現在人口の約3割が外国籍で、独自の文化を定めるよりお互いの習慣を尊重し、共存することを大切にしています。強いて言えば、シンガポール独自の文化はまさに「みんなそれぞれ」と言えるかもしれません。

というわけで、自分は今年のお正月をどう過ごすかと言うと、まずはシンガポールから遊びにくる友人を迎えます。そして、祖母がよく作ってくれていた「黒米ぜんざい」を「フイミン家お雑煮」として皆さんに味わってもらい、一緒に新年を迎えるたいと思います。

